

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境	プラスチック被覆肥料の使用	▶ 環境保全型肥料の使用	肥料殻の流出防止
省力	刈払い機による草刈	▶ ラジコン草刈機の利用	畦畔管理の省力化

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境	環境保全型肥料の使用面積（ha）	0.3	▶ 10	
省力	ラジコン草刈機の利用面積（ha）	0.3	▶ 19	
			▶	
			▶	

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）
* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

令和7年度の検証結果を基に作成した栽培マニュアルを用いて、研修会等でプラスチック被覆肥料の代替としての環境保全型肥料やラジコン草刈機の有効性について啓発する。

関係者の役割

関係者名	岡山県	JA晴れの国岡山 びほく基幹アグリセンター等	安元地区農業者	
役割	コーディネート 被覆殻流出防止対策や 省力畦畔管理の啓発	代替肥料の販売 代替肥料の販売被覆殻流出防 止対策の啓発	研修会等への参加 グリーンな栽培体系の導入	